

令和7年度 山形県立荒砥高等学校入学者募集要項

〒992-0831 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367

山形県立荒砥高等学校

電話 **0238-85-2171**

FAX **0238-85-2823**

入学者の選抜は、「令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき、次の要領によって実施する。

I 入 学 者 募 集

1 設置課程・学科 全日制の課程・総合学科

2 入学定員 40名

3 アドミッションポリシー（求める生徒像）

- 総合学科の特色を踏まえ、学業や課外活動等、何事にも興味を持ち前向きにチャレンジしようとする生徒
- 自分や周りの人を大切にするとともに、地域を愛し、地域とともに学ぼうとする意欲がある生徒

II 推 薦 入 学 者 選 抜

1 募集人員 入学定員の25%程度とする。

2 志願資格

令和7年3月に県内の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

- (1) 本校のアドミッションポリシーに合致した者。
- (2) 次に示す出願要件のうち、「1 キャリア形成に係る要件」と「2 成績評定概況に係る要件」に加え、それ以外の「3 特別活動等に係る要件」「4 校外活動に係る要件」「5 その他」のいずれか一つ以上に該当する者であること。
- (3) 合格した場合は、入学が確約できる者。

<出願要件>

1 キャリア形成に係る要件	将来の進路選択を視野に入れ、自己の進路への自覚を深める高い目的意識を持つ者
2 成績評定概況に係る要件	評定合計が23以上の者
3 特別活動等に係る要件	以下の（１）、（２）のいずれかに該当する者 （１）生徒会の役員、委員会委員長、学級委員、部活動の部長等を務め、各活動の活性化に尽力した者 （２）３年間の文化的活動や体育的活動において、以下①～④のいずれかに該当する者 ①県大会で入賞した者 ②地区大会を経て、上位大会に出場した者 ③地区大会において３位以上の入賞や入選の実績をあげた者 ④上記のような実績がなくとも、積極的かつ真面目に活動に参加し、最後まで活動を継続した者
4 校外活動に係る要件	以下の（１）、（２）のいずれかに該当する者 （１）学校外のボランティア活動団体・サークルに１年以上所属し、継続的に活動した者 または、団体に所属しなくても同等の活動があった者 （２）学校外の文化的活動や体育的活動に積極的かつ継続的に取り組んだ者
5 その他	以下の検定試験のいずれかにおいて４級以上を有する者 ① 日本漢字能力検定（漢検） ② 実用数学技能検定（数検） ③ 実用英語技能検定（英検）

3 出 願

(1) 出願に必要な書類

① 推薦入学願書 入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼り、消印しないこと。

ペン書き又はボールペン書き（青色又は黒色）で本人が正確に記入すること（ただし、保護者氏名は保護者が記入すること）。

② 自己推薦書

③ 調査書

④ 個別に必要な書類

自己申告書 進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合にのみ提出できる。

⑤ その他の書類

中学校長は、本校校長に「評定概況」を１部提出する。ただし、県外からの志願者及び特別支援学校からの志願者については提出を要しない。

(2) 書類の提出

出願に必要な書類を一括し、「推薦入学者選抜志願者名簿」を添え、在籍中学校長を経由して本校校長に提出すること。

(3) 受付期間

令和7年1月20日（月）から1月24日（金）までに提出すること（受付時間 8時25分～16時55分。24日は12時まで）。郵送の場合でも締切日時までに必着のこと（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する）。

4 作文及び面接

推薦入学志願者については、次の要領によって作文及び面接を実施する。

- (1) 期日・場所 令和7年2月3日（月） 本校会場
- (2) 日 程 ① 受付時間 8：45～9：00 職員玄関から入り、案内に従って受検者控室に移動すること。
② 出席確認 9：00
③ 作文 9：15～10：15
④ 面接 10：30～ 終了時刻は受検者数により異なる。
- (3) 作文 字数は800字程度、時間は60分とする。
- (4) 面接 個人面接とする。
- (5) 携帯品 受検票、筆記用具、内履き

5 選抜規準

配点比率	A調査書学習の記録：B調査書学習の記録以外：C面接：D作文
	A 40：B 20：C 20：D 20

<面接の評価の観点>

観 点	評価段階
① 目的意識がしっかりしている。 ② 向上心、積極性、リーダーとしての資質がある。 ③ 面接時の態度がしっかりしている。 ④ コミュニケーション能力がある。	A B C D（4段階）

<作文の評価の観点>

観 点	評価段階
① 出題テーマに沿って、自分の考えが明確に記述されている。 ② 文章の構成がしっかりしている。 ③ 文章量が適切である。 ④ 誤字・脱字がなく、ことばを正しく使っている。	A B C D（4段階）

6 選抜結果の通知

令和7年2月10日（月）必着で、中学校長あて「推薦入学者選抜結果通知書」及び合格内定者の「合格内定通知書」を送付する。ただし、合格者の発表は一般入学者選抜と同様に令和7年3月17日（月）に行う。

Ⅲ 一般入学者選抜

1 志願資格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和7年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で、令和7年度推薦入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

2 出 願

(1) 出願に必要な書類

- ① 一般入学願書 入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼り、消印しないこと。

ペン書き又はボールペン書き（青色又は黒色）で本人が正確に記入すること（ただし、保護者氏名は保護者が記入すること）。

- ② 調査書 ただし、推薦入学者選抜の志願にかかわって提出済の場合は、提出を要しない。

- ③ 個別に必要な書類

- ア 自己申告書 進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合にのみ提出できる。また、推薦入学者選抜の志願にかかわって提出済の場合は、提出を要しない。

- イ 推薦入学者選抜受検票 本校の推薦入学者選抜に漏れた者が、本校の一般入学者選抜に志願するとき。

- ④ その他の書類

中学校長は、本校校長に「評定概況」を1部提出する。ただし、県外からの志願者及び特別支援学校、令和5年度以前の卒業生からの志願者については、提出を要しない。また、推薦入学者選抜の志願にかかわって提出済の場合は、提出を要しない。

(2) 書類の提出

出願に必要な書類を一括し、「一般入学者選抜志願者名簿」を添えて、在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出すること。なお、推薦入学者選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者については、「一般入学者選抜志願者名簿」に含めて提出すること。

(3) 受付期間

令和7年2月17日（月）から2月21日（金）までに提出すること（受付時間 8時25分～16時55分。21日は12時まで。）。郵送の場合でも締切日時までに必着のこと（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する）。

3 学 力 検 査

- (1) 検 査 教 科 国語、社会、数学、理科、外国語（英語）
- (2) 検 査 日 時 令和7年3月7日（金）
 - ① 開場時刻を7時50分とする。
 - ② 集合時刻を8時20分とし、各検査室で出欠席を確認する。
 - ③ 日 程

時 刻	教 科	時 間
8：50 ～ 9：40	国 語	50 分
10：00 ～ 10：50	数 学	50 分
11：10 ～ 12：00	社 会	50 分
12：50 ～ 13：40	理 科	50 分
14：00 ～ 14：50	外国語 (英 語)	50 分
* 14：00から約10分間はリスニングテスト		

- ④ 各教科の検査においては、検査終了時刻まで検査室を出ることはできない。
- (3) 検 査 会 場 本校
生徒昇降口から入り、案内に従って検査室に移動すること。
- (4) 携 帯 品
 - ① 受 検 票
 - ② 次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。
鉛筆（シャープペンシル含む）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り
なお、次の事項に注意すること。
ア 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
イ 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
ウ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。
エ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類、その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。
オ 下敷は使用を認めない。
 - ③ 昼食、内履き
 - ④ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

4 選 抜 の 方 法

調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は、5：5とする。

5 合 格 発 表

- (1) 令和7年3月17日（月）14時頃、受検番号のWebへの公開及び本校生徒昇降口前の掲示によって行う。ただし、Webへのアクセス方法については、後日、受検票とともに配布する。
- (2) 合格者へ「合格通知書」を送付する。

6 個人情報提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼ったもの）を提出すること。

7 追検査について

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、学力検査を一部でも受検したものは、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

追検査の受検を希望するものは、次のア～イの連絡等を行う。

ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。

イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。

(3) 追検査の内容及び日時等

- ① 学 力 検 査 内容は上記「3 学力検査」に準ずる。
- ② 検 査 日 時 令和7年3月12日（水） 時間は本検査に同じ。
- ③ 検 査 会 場 本校
生徒昇降口から入り、案内に従って検査室に移動すること。

(4) 追検査の選抜における取り扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

IV 合格者説明会

- | | | |
|-------|---|-----------------------------|
| 1 日 | 時 | 令和7年3月25日（火）13:00～16:30（予定） |
| 2 その他 | | 合格者は、保護者と一緒に出席すること。 |

資料2 令和7年度入学生 教育課程

1年次

(必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●)

系列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
全系列	◎現代の国語	◎言語文化	◎公共		◎数学Ⅰ						◎科学と人間生活		◎体育		◎保健	○美術Ⅰ	○音楽Ⅰ	◎英語コミュニケーションⅠ	◎家庭総合		◎情報Ⅰ		●教養基礎				●産業社会と人間		ホームルーム活動	

2年次

系列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	共通履修																		選択A	選択B	異年次Ⅰ		異年次Ⅱ		共通履修					
文理総合	国語表現				◎地理総合	数学Ⅱ			◎生物基礎	◎体育	◎保健	英語コミュニケーションⅡ					◎家庭総合	化学基礎	政治・経済	論理・表現Ⅰ	数学A	●中国語	●身近な科学	●英語探究	●生活と福祉	●地域資源活用	◎総合的な探究の時間	ホームルーム活動		
ビジネス・教養																			●実務	●コンピュータ	ビジネス基礎	●コミュニティスポーツ	●器楽	●情報処理	●保育基礎					

3年次

系列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	共通履修													選択A	選択B	選択C	選択D	異年次Ⅰ		異年次Ⅱ		共通履修								
文理総合	文学国語				◎歴史総合	数学Ⅱ			◎体育	英語コミュニケーションⅡ					論理・表現Ⅱ	論理国語	化学基礎	音楽Ⅱ	美術Ⅱ	●数学探究	●地理探究	●中国語	●身近な科学	●英語探究	●生活と福祉	●地域資源活用	◎総合的な探究の時間	ホームルーム活動		
ビジネス・教養															ビジネス・コミュニケーション	商品開発と流通	スポーツⅡ	論理・表現Ⅰ	●フットデザイン	●ネットワー活用	●コミュニティスポーツ	●器楽	●情報処理	●保育基礎						

	1年次	2年次	3年次
各教科・科目及び総合的な探究の時間の単位数	29 (30)	29 (30)	29 (30)
	()内は「校外学習」修得者。1年間で1単位、3年間で最大2単位まで。		
卒業までに修得すべき単位数	74		